

学校評価結果公表シート ー 苫小牧聖ルカ幼稚園 ー

1. 園の教育目標

<p>『神おきな児を守りたもう』 キリスト教の精神に基づき、大きな恵みの中でゆったりと安心と安全な生活を送ることが出来るようにと望んでいます。 毎日の生活の中で遊びを通して、他人を思いやる豊かな感性が育つようにと望んでいます。 明るく、元気に、のびのびと育ててほしいと望みます。</p> <p><保育方針> ・乳幼児に優しい環境の構成を整える ・豊かな感性を育てる ・他人を思いやる優しい心を育てる</p>
--

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

<ul style="list-style-type: none"> ・『三本の柱』 食育「ごはんちゃん」、園外保育「森のようちえん」、こども聖歌隊「スマイル」の充実 ・乳幼児に対して温かい家庭の様に環境を整え見守る ・園内研修の充実 ・小学校との連携

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組み状況
園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成している	子どもの主体的な活動が十分確保される様に配慮し、年間計画・月間計画・週案・日案と細部に至るまで作成し、教職員間の共通理解を持ちながら保育に携わっている。
乳児期にふさわしい指導計画を作成している 幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に指導計画を作成している	日々の乳児の姿から、室内の換気・加湿など環境を整え常に寄り添って見守るように心がけている。 指導計画は遊びを中心とした生活の流れを通して、個別に応じた総合的な保育が出来るように心がけて作成している。 また、安全面への配慮にも意識しながら立案している。
安全で清潔感のある環境構成をしている	毎年、教育課程を見直しながら必要に応じて環境構成を整えている。 特に今年は新型コロナウイルス感染症によってより意識的に取り組むようになり、アルコール消毒、手洗い等を徹底している。
幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がけている	子どもひとりひとりをしっかり認めて、その子の良さを十分に伸ばしてあげられるよう努めている。 日々の保育の振り返りで報告・連絡を行い、教員間で共通理解を図っている。
保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努めている	送迎時（バスの送迎を含む）に保護者に対して、可能な限り子どもの様子を直接伝えるようにしている。また、ホームページにも日々の様子を毎週更新している。必要に応じて電話連絡も行っている。 個人面談や個別相談を受ける際は、保護者に寄り添い、話しやすい環境づくりに心がけている。

地域や社会とのかかわりをもつように努めている	地域交流の大きな取り組みの一つであるバザーは、今年はコロナのために実施できなかった。 障害者施設「おおぞら園」や子ども育成課とは、支援を必要とする子どもに関わる情報交流など密に連携を取りながら、今までと同様の協力体制で支援の一端を担っている。
保育者としての専門性を高めるための各研修会に積極的に参加している	今年度はコロナのために多くの研修の場が例年通りとは行かなかったが、数回の園内研修やリモート研修を行った。 勤務に支障をきたさない中で、今後も可能な限り幼児教育への専門性を高めるための研修参加をしっかりと行っていきたい。
人事管理・財務管理を適正に行っている	公認会計士により適正に運営されていると認められている。

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開	今までと同様にホームページや手紙でお知らせする他、掲示板を活用していくことを考えている。
安全管理	保護者の他に業者さん等、様々な人の出入りについて、しっかりとしたセキュリティー環境を整えていく。 避難訓練では、地震、火災以外に、不審者侵入や園外活動時の災害時における対応策訓練を行っていく必要がある。
特別支援教育	支援を必要とする多様な子どもたちに対して、個別に適切な支援を行っていくための高いスキルを身につけていくことが必須。年によって、重度障害の子どももおり、関係機関との連携を図ると共に、教職員に対する研修を充実させていく。 また、それらの子どもたちの保護者支援も大切にしていく。